

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
2年	63	保健統計学
2年	65～66	地域保健

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-0-HSC-03					
	●										
科目名	保健統計学				単位 認定者	伊藤 恵美		評価 の方法	試験(筆記)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	10	%
						授業時間数	16 時間		授業内課題 (小テスト等)	20	%
					授業形態	講義	授業回数		8 回		
授業の概要	歯科臨床や保健情報のデータから、目的に応じたデータ解析を実践するための知識と方法を修得する。 また歯科臨床や保健統計情報の見方と活用法についても理解を深める。										
到達目標	1. 保健統計の種類と意義を学修し、わが国の保健統計の変遷及び現状等について理解を深める。 2. 医療の現場で得られる様々なデータを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を理解する。										
学修者への 期待等	医療の現場における口腔の状況を数量化し、疾病や口腔状態を数量化や指数により数字に置き換えて 現状把握や評価できることを期待しています。興味を持って学修してください。										
回	授業計画・学修の主題					準備学修			事前学 修時間 (分)	事後学 修時間 (分)	
1	保健情報と保健統計、国家統計調査、保健情報と疫学					事前学修：教本P 1～35を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
2	保健情報の分析手順（保健情報の収集、調査、母集団と標本抽出）					事前学修：教本P73～88を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
3	保健統計の方法（データの特性、記述統計、推定と信頼区間、保健情報の多変量解析）					事前学修：教本P89～113を読んで授業に臨むこと。 事後学修：次回授業時、保健統計に関する小テストを行う予定。			30	30	
4	保健情報の分析演習（解析と検定の演習） 小テスト					事前学修：教本P114～136ページを読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
5	歯科疾患の指数①数量化と指数②う蝕の指数 計算演習					事前学修：教本P36～44を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
6	歯科疾患の指数③歯周疾患の指数 計算演習 グループワーク					事前学修：教本P45～54を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
7	歯科疾患の指数④口腔清掃状態の指数 計算演習					事前学修：教本P54～60を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
8	歯科疾患の指数⑤不正咬合と歯列不正の指数、⑥歯のフッ素症指数、⑦その他の歯科保健指数 計算演習					事前学修：教本P60～71を読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の復習を行うこと。			30	30	
アクティブ・ ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（ 演習、グループワーク ）										
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学』全国 歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社										
参考文献	なし										
備考	小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。										

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-15				
	●									
科目名	地域保健				単位認定者	大森俊也 石河理紗		評価の方法	試験 (筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題 (小テスト等)	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	人々の健康に関わる地域の役割を学び、地域保健を担う組織の仕組みと特徴を理解する。また、集団を対象とした疾病予防と健康増進に関わる地域保健活動において歯科衛生士の役割を理解する。									
到達目標	・ 地域の人々の歯と口腔の健康づくりを支援するための基礎と方策について理解する。 ・ 一人ひとりの生活行動が身近な地域福祉活動に結びつくものであること、また、一人ひとりが社会資源として地域福祉のネットワークに参画する必要性について理解する。									
学修者への期待等	地域福祉について、口腔の健康に及ぼす要因も含めて理解する。基本的な統計学的手法について理解する。授業終了後に重要項目をまとめた小テストを実施するので、その内容については次回までに復習することが望ましい。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	担当教員
1	遠隔【オンデマンド】 地域保健・公衆衛生① 生活と健康、地域社会と保健対策の基本的な考え方を学び、時代の変化に伴う地域保健活動の変化から、今日の現状を概説する。					事前学修：教科書のⅢ編1章 ①～④を読む		15	0	石河 理紗
2	遠隔【オンデマンド】 地域保健・公衆衛生② 健康づくり対策と地域歯科保健について説明する。					事前学修：教科書のⅢ編1章 ⑤～を読む		15	0	石河 理紗
3	遠隔【オンデマンド】 母子保健 母子健康手帳に記載された口腔関連質問項目や妊産婦への歯科保健指導の要点について学ぶ。また1歳6カ月児、3歳児健康診断の目的、う蝕罹患型の分類、歯科保健指導の要点等を学習する。					事前学修：教科書のⅢ編2章 を読む		15	0	石河 理紗
4	遠隔【オンデマンド】 学校保健 学校保健の対象者とその意義、関係職員について学ぶ。また保健教育と保健管理の概要を理解する。学校歯科健康診断について診査の項目や記載事項、事後措置を学ぶ。					事前学修：教科書のⅢ編3章 を読む		15	0	石河 理紗
5	遠隔【オンデマンド】 成人保健・高齢者保健 成人保健として生活習慣病のリスクファクターと成人期の口腔保健管理について学ぶ。また、高齢者保健として高齢者の保健対策や介護保険、地域支援事業について理解する。					事前学修：教科書のⅢ編4章、6章を読む		15	0	石河 理紗
6	遠隔【オンデマンド】 産業保健 産業保健の目的、関連法規について学び、職業性疾病の要因と歯科を含む特殊健康診断について理解する。また安全衛生管理について学習する。					事前学修：教科書のⅢ編5章 を読む		15	0	石河 理紗
7	遠隔【オンデマンド】 精神保健 精神保健の定義、意義を学び、精神保健福祉行政や精神医療の現状と課題について理解する。また精神障害者の社会復帰と歯科保健の問題を考える。					事前学修：教科書のⅢ編7章 を読む		15	0	石河 理紗

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	担当教員
8	遠隔【オンデマンド】 災害時歯科保健、国際保健 日常的災害対策や災害時の保健医療について学び、災害時の歯科保健、歯科の役割について理解する。また世界的な健康水準や保健医療水準、国際協力に関わる機関やその活動について学ぶ。	事前学修：教科書のⅢ編8～9章を読む	15	0	石河 理紗
9	遠隔【オンデマンド】 まとめ これまでの授業内容について総括する	事前学修：これまでの講義資料を読む	30	0	石河 理紗
10	「地域福祉」の理解 ① ・少子化、超高齢化、多死という人口減少社会の問題と経済の縮小による財政逼迫の社会の到来は、他人ごとではなく、「自分ごと」として受け留めていかなければならない背景について学ぶ。 ・地域コミュニティの問題、課題への気づきと理解を深める。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
11	「地域福祉」の理解 ② ・社会福祉法から社会福祉と地域福祉の推進について解説する。 ・ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティア、協働・パートナーシップ、エンパワメント等地域福祉の理念について理解を深める。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
12	「地域福祉」の理解 ③ ②に引き続き、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティア、協働・パートナーシップ、エンパワメント等地域福祉の理念について理解を深める。	事前学修：資料精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
13	「地域福祉」の理解 ④ 地域に起こる様々な問題の中から認知症高齢種や災害時弱者等の保護、児童虐待の通告、児童相談所の役割を理解する。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
14	「地域福祉」の理解 ⑤ 地域福祉の推進における民生・児童委員の役割を理解する。子供の貧困とヤングケアラー、子育て支援について学ぶ。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
15	「地域福祉」の理解 ⑥ ・現状の地域福祉計画、地域支援計画及び「2040年問題」について解説する。 ・サービス通減の「国民的合意形成」について理解を深め、地域福祉活動参加への醸成を図る。	事前学修：前回資料精読 事後学修：全回を振り返る	30	30	大森 俊也
アクティブ・ラーニング	☒ 該当なし ☐ 該当あり：キーワード（ ）				
教科書	『最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
参考文献	なし				
備考	対面またはオンデマンド授業で実施する。小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
当教員は、在宅福祉に20年の相談実務経験があり、家族の会や行政と協働して認知症デイケアを開設。家族の介護負担軽減を図るとともに、本人擁護のための認知症徘徊搜索システムを協働開発しました。2000年新設の老健施設に歯科衛生士を採用し口腔ケア体制(診療ユニット室)創設し、退所後の在宅でも老健機能を楽しむ訪問介護・看護事業を展開するなど25年の経営実務経験があります。地域の課題や問題から地域福祉を構成する理論や理念等を容易に説明します。	